第 27 回全国高等学校文化連盟将棋新人大会愛知県大会　報告

去る 10 月 28 日（日）に、東海高校を会場に標記大会が行われた。高校生にとっては、高校選手権、高校竜王戦と同様、大きな目標となる大会である。参加資格は 1、2 年生のみで、男女それぞれの上位入賞者は全国大会に出場できる。

県大会は愛知県高校将棋連盟、愛知県高文連、日本将棋連盟東海普及連合会の共催で、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、愛知県私学協会の後援を受けている。

大会結果を簡単にお伝えする。

★ 男子個人戦

207 名の申込に対して県代表の枠は 2 名のみと厳しい。初めからトーナメント戦で、ベスト 32 で再抽選をして紅白 16 名ずつのトーナメントに分け、それぞれの優勝者を愛知県代表とした。ベスト 32 のうち名電が 5 名と最多、次いで東海、明和、松蔭の各校が 3 名だった。名電は白組の 4 強を占め、とりわけ層の厚さが光った。

［紅］優　勝　河合勇樹（岡崎 1 年）
準優勝　伊藤　悟（明和 1 年）
第 3 位　中川悠理（東海 1 年）

［白］優　勝　瀬野泰平（愛工大名電 2 年）
準優勝　亀山　凌（愛工大名電 1 年）
第 3 位　兵藤和貴（愛工大名電 1 年）

紅組優勝の河合君は 5 月の高校選手権個人戦ではあと一歩のところで代表を逃していたが、今回はチャンスを掴むことができた。一方、白組優勝の瀬野君は県代表の常連で、この大会でも 2 年連続の全国行きとなった。

★ 女子個人戦

4 名が参加し、総当たりリーグ戦を行って順位を決定した。女子は昨年度の代表選手が全国大会で優勝を果たし（当該選手は現 3 年生）、愛知県の出場枠は 1 名増の 4 名となった。しかし参加者は激減し、少なくともここ 10 年では最少の参加者数だった。

優　勝　磯谷祐維（中部大春日丘 1 年）
準優勝　後藤祐里（南山女子部 2 年）
第 3 位　西村有里子（津島東 2 年）
第 4 位　浅野茉里美（津島東 2 年）

実績に勝る磯谷さんが 3 戦全勝で優勝を果たした。

全国大会は 2019 年 1 月 31 日から岡山県玉野市で開催される。代表となった 6 名の選手の活躍を祈念している。

（愛知県高校将棋連盟　奥野（南山高校女子部））